

2018年3月30日

報道関係各位

シンジェンタジャパン株式会社

**殺虫剤「アグリメック®」
3月30日付け「トマト」、「きゅうり」、
「かんきつ」、「いちご」等に適用拡大**

シンジェンタジャパン株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 的場稔）が販売する殺虫剤「アグリメック®」（農林水産省登録 第23235号）は、2018年3月30日付けで「トマト」「きゅうり」「かんきつ」「いちご」の作物に対して適用拡大をいたしました。

「アグリメック®」の有効成分アバメクチンは、日本で発見された土壌微生物を基に開発が進められました。世界60カ国以上において登録を有し、日本においても2013年6月の発売開始以来、茶・花き類・果菜類の生産者にご愛用いただいております。従来の有効成分に抵抗性を持つ難防除害虫にも高い効果を発揮し、この度の適用拡大によって「トマト」のタバココナジラミ類（バイオタイプQ含む）、「きゅうり」のハダニ類、アザミウマ類、「いちご」親株育成期、及び育苗期のハダニ類といった有効な防除手段の少ない害虫に対して新たな解決策をご提供出来ると確信しております。また、「かんきつ」においてもアザミウマ類・ミカンサビダニ・チャノホコリダニを同時防除可能、かつ高い耐雨性を有する定期防除の基幹剤として期待されております。

■アグリメック®（有効成分アバメクチン）の特長■

- ① 接触毒・食毒により素早く作用し、神経伝達を阻害し害虫を防除します。
- ② 優れた浸達性により、散布した有効成分が速やかに植物体内部に浸達。薬剤の届きにくい場所にいる隠れた害虫も逃しません。
- ③ ウイルス病を媒介するコナジラミ類をはじめ、トマト・きゅうりなどの果菜類における主要病害虫の成虫・幼虫に対して高い効果を示し、ダニ類、アザミウマ類との同時防除が可能です。
- ④ 優れた特長（残効性、浸達性、耐雨性）でかんきつの主要害虫を同時防除します。
- ⑤ 優れた特長（幅広い殺虫スペクトラム、残効性、浸達性、耐雨性）でかんきつの主要害虫を同時防除します。

世界的に幅広い作物に使用されている「アグリメック®」は、日本においても難防除害虫対策において、これからも益々、生産者の皆様の作物づくりにお役に立てると確信しています。

®はシンジェンタ社の登録商標

シンジェンタについて

シンジェンタは、アグリビジネスのリーディングカンパニーです。数百万の生産者が限りある資源を有効利用できるよう支援することにより、世界の食料安全保障の向上に貢献しています。ワールドクラスの科学と革新的なソリューションを通じて、世界90カ国以上で2万8,000人超の社員が作物生産の変革に取り組んでいます。私たちは、劣化した土地の回復、生物多様性の促進、および農村地域社会の活性化をコミットしています。更に詳しい情報は、<http://www.syngenta.com>、www.goodgrowthplan.com および<http://www.syngenta.co.jp>（日本語）をご覧ください。または ツイッター www.twitter.com/Syngenta でシンジェンタをフォローして下さい。

免責事項

このプレスリリースは、金融証券の購入・販売を申し出るまたは勧誘するためのものではありません。

将来の見通しに関する記述についての注意事項

本リリースには、将来の見通しに関する記述が含まれています。そのような記述は、現在の予想、仮定、評価、推定に基づくものであり、様々なリスクや不確定要素その他による影響のため、結果、活動水準、実績、業績は、将来の見通しに関する記述とは異なる可能性があります。将来の見通しに関する記述は、「信じる」、「予想する」、「意図する」、「計画する」、「であろう」、「かもしれない」、「すべきである」、「推定する」、「予測する」、「潜在的な」、「継続する」といった単語や表現、またはこれらの否定形、または類似した表現により一般的に特定されます。限定的な仮定が不正確または未知のリスクまたは不確定性の発生を示した場合、実際の結果と時期は、将来の見通しに関する記述で論じられた結果や時期とは異なる場合がありますので、こうした記述に過度に依存すべきではありません。シンジェンタは、このプレスリリースおよびその他が扱う時期より後に派生した進展を反映させるため、将来に対する見通しに関するいかなる記述もそれを更新する意図と義務を一切持たないものとしてします。

本件に関するお問い合わせ先

シンジェンタジャパン株式会社

TEL : 0570-550-042

MAIL: campaign.jp@syngenta.com

添付資料 1 : 適用害虫の範囲および使用方法

添付資料 2 : 製品写真

添付資料 1 : 適用害虫の範囲および使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	アバメク チンを含 む農薬の 総使用回 数
なす メロン ピーマン	アザミウマ類 ハダニ類 コナジラミ類	500~1000 倍	100~ 300L/10a	収穫前 日まで	3回以内	散布	3回以内
きゅうり	2回以内				2回以内		
トマト	アザミウマ類 トマトサビダニ コナジラミ類 トマトハモグリバエ				3回以内		3回以内
すいか	アザミウマ類 ハダニ類			収穫3 日前ま で			
ねぎ	ネギアザミウマ ネギハモグリバエ	1000 倍	200~ 400L/10a		摘採7 日前ま で		1回
茶	チャノキイロアザミウマ チャノナガサビダニ チャノホソガ カンザワハダニ チャノホコリダニ チャノコカクモンハマキ チャトゲコナジラミ チャノミドリヒメヨコバイ						
ホップ	ハダニ類			200~ 700L/10a			
かんきつ	アザミウマ類	1000~ 2000 倍	200~ 700L/10a	収穫7 日前ま で	3回以内		3回以内
	チャノホコリダニ ミカンハモグリガ ミカンサビダニ	2000 倍					
いちご	ハダニ類	500~1000 倍	100~ 300L/10a	親株育 成期 育苗期	2回以内	2回以内	
花き類・ 観葉植物 (ガーベラ を除く)	ミカンキイロアザミウマ ハダニ類	500 倍	100~ 300L/10a	発生初 期	5回以内	5回以内	
ガーベラ	トマトハモグリバエ						

※2018年3月30日付で適用拡大となった個所：下記（ご参照：上記赤字）

- ① 作物名「かんきつ」（アザミウマ類、チャノホコリダニ、ミカンハモグリガおよびミカンサビダニ）を追加。

- ② 作物名「きゅうり」（アザミウマ類、コナジラミ類およびハダニ類）を追加。
- ③ 作物名「トマト」（アザミウマ類、トマトサビダニ、コナジラミ類およびトマトハモグリバエ）を追加。
- ④ 作物名「いちご」（ハダニ類）を追加。
- ⑤ 「なす」、「メロン」、「ピーマン」の適用病害虫「タバココナジラミ類（シルバーリーフコナジラミを含む）」を「コナジラミ類」に変更。

※最新の適用情報、使用上の注意事項など、詳しくはウェブサイトをご確認ください。
http://www.syngenta.co.jp/cp/items/agrimec_ec/apply/

添付資料2：製品写真

